

TOPICS 1 サステナビリティ重要課題の目標値を設定いたしました

1. 環境関連の目標値 (KPI) ・取り組み方針

重要課題	取り組みテーマ	目標	目標年度	目標値	取り組み方針
エネルギー効率に配慮した事業推進 	環境配慮型商品の供給による水使用量の削減	環境配慮型商品の売上構成比 ※1	2030年度	30%以上	研修カリキュラムにメーカー研修を組み入れて環境配慮型商品の提案力を高める
	エネルギーの高効率化によるCO ₂ 削減	建物のエネルギー高効率化に貢献できる自動制御システム事業の売上高伸長率	2030年度	2022年度比30%増	エネルギー高効率化に傾注した自動制御システム事業の推進
		提案型営業によるソリューション事業の売上高伸長率	2030年度	2022年度比35%増	省エネ提案の強化、ソリューション事業の推進
メンテナンスの提供による持続可能なまちづくりの促進	メンテナンス売上高伸長率	2030年度	2022年度比30%増	竣工物件に対するメンテナンス契約割合の向上	
	空調システムの性能維持に関わる提案件数の伸長率 ※2	2030年度	2022年度比15%増	メンテナンス顧客への改善提案の推進	
生産性向上に配慮した事業推進 	快適で安全安心な建物環境の確保	中央監視システム納入案件における中長期保全計画書の提出率	2030年度	100%	メンテナンス物件に対する中長期保全計画書の提出徹底
		提案型営業における受注件数比率 ※3	2030年度	40%以上	法定耐用年数を超える老朽機器に対する更新提案の推進
	配送の効率化によるCO ₂ 排出の削減	CO ₂ 削減効果の高い直接配送・共同配送に転換を進めた効率配送による売上高比率	2030年度	70%以上	物流のプロセスの見直しを行い、CO ₂ 削減効果の大きい直接配送や共同配送に転換する
事業活動に付随した取り組み 	グリーン電力（再エネルギー利用）等の取り組み	Scope2によるCO ₂ 排出量の削減率	2030年度	2013年度比46%削減	自社ビルにおける電力の再生可能エネルギーへの切り替えの推進
	社用車の燃料消費量の削減	Scope1によるCO ₂ 排出量の削減率	2030年度	2013年度比46%削減	車両入替時にエコカー（EV、PHEV、HV）導入を推進

- ※1 管工機材事業の売上高に、環境配慮型商品の売上高が占める割合
- ※2 空調システムの性能維持に関わる提案件数の伸長率は、EBB提案件数の伸長率を指す（EBBの示す内容は、①省エネ提案②中央監視更新提案③その他提案④派生工事）
- ※3 提案型営業における受注件数比率は、EBB受注件数／EBB提案件数を指す（EBBの示す内容は、①省エネ提案②中央監視更新提案③その他提案④派生工事）

2. 社会関連の目標値 (KPI) ・取り組み方針

重要課題	取り組みテーマ	目標	目標年度	目標値	取り組み方針
多様な人材が いきいきと働 ける職場環境 づくり 	女性が活躍できる制度の整備	育休取得率	2024年度	100%	多様化する働き方に合わせた制度設計により、仕事とプライベートを両立して働きやすい環境を整備する
		男性育休取得率	2024年度	30%超	
	若年層の教育とサポート体制の確立	教育の継続的な実施	毎年	—	<ul style="list-style-type: none"> ・階層別／職種別研修カリキュラムの充実に努める ・若年層（35歳未満）の育成を積極的に推進する
	健康的で働きやすい職場環境の整備	Well Beingスコア	2024年度	「良好」の維持	<ul style="list-style-type: none"> ・健康経営優良法人認定を目指して健康経営を推進する ・働きやすい環境の整備を推進する（オフィス環境の整備、育児休暇等の制度、テレワーク等） ・従業員エンゲージメントの良好な状態を維持する
	社会貢献活動への参加・支援	会社としての社会貢献活動	毎年	—	地域のコミュニティ活動に参加、支援を推進する

3. ガバナンス関連の目標値 (KPI) ・取り組み方針

重要課題	取り組みテーマ	目標	目標年度	目標値	取り組み方針
企業倫理・ガ バナンス体制 の強化 	リスク管理・コンプライアンス体制の強化	重大な法令違反件数	毎年	0件	コンプライアンス教育を実施する（受講率100%）
	事業継続計画の策定	事業継続計画の策定	2024年度	—	大規模自然災害に係るリスク対応方針、対応策など危機管理の基本方針を策定する

当社は、2022年度に特定した重要課題（マテリアリティ）に基づき、目標値（KPI）・取り組み方針を設定いたしました。

目標達成に向け、サステナビリティ委員会で基本方針や戦略・計画の策定、各事業部の活動支援・フォローアップ、サステナビリティに関する社内外情報発信・コミュニケーション等を推進しています。

また、活動進捗や目標達成の状況は、必要に応じて取締役会に報告を行い、経営と一体となったサステナビリティ活動を進めてまいります。

TOPICS 2 サステナビリティページを公開いたしました

当社は、サステナビリティへの取り組みを経営の重要課題と捉え、広く活動や指針を社外へと伝えるべく、コーポレートサイトにサステナビリティページを公開いたしました。

当社は経営理念に「信頼・進取・創意」を定めており、気候変動リスクを含むサステナビリティの課題、労働安全衛生を含む人的資本・多様性確保の社会的課題に対応しつつ、お客様にはソリューション提案を実現し、快適な建物環境づくりを推進していくことが経営理念に一致した当社の役割であると考えております。

当社は、経営理念、役職員行動規範のもと、すべてのステークホルダーに配慮した事業活動を行うことにより、持続的な成長の実現を目指し、SDGsの達成に貢献してまいります。

サステナビリティへの取り組み

(<https://www.o-tec.co.jp/sustainability/>)



TOPICS 3 EcoVadis社の評価で「ブロンズメダル」を取得いたしました

当社は、フランスのEcoVadis（エコバディス）社のサステナビリティ評価において「ブロンズメダル」を取得しました。

「ブロンズメダル」は、同社の評価を受けた企業のうち上位50%に位置することを示します。

EcoVadis社は、グローバルなクラウドベースのプラットフォームを介して、世界160カ国・9万5,000社以上の企業に関するサステナビリティの取り組みに評価データを提供しています。

このサステナビリティ評価は「環境」「労働と人権」「倫理」「持続可能な資材調達」の4分野で包括的に行われます。

当社は今後、更なるサステナビリティへの取り組みを進め、企業価値の向上に努めてまいります。



TOPICS 4 Sumida Base Nomadを開設いたしました

当社は東京都墨田区に、グループ企業間の事業連携を目的とした「Sumida Base Nomad（スミダ ベース ノマド）」を開設いたしました。

Sumida Base Nomadは「バイオフィリックデザイン」を取り入れた、多様なワークシーンに活用できるフリースペースです。室内インテリアに多くの観葉植物を取り入れた空間デザインは、コミュニケーションの活性化とストレス軽減効果を期待できる当社グループ共用のオフィスとなります。

今後もグループ間の事業連携を高めて、更なる企業価値の向上に努めてまいります。



TOPICS 5 J2ベガルタ仙台への協賛を通じた社会貢献活動の取り組み

当社は、2021年シーズンからベガルタ仙台のCSR活動に協賛しており、昨シーズンに続きSUSTAINABLE PARTNERとして同チームの「こころもからだも元気 Project」を支援しております。

「こころもからだも元気 Project」は、宮城県内で主に高齢者向けに「介護予防健康体操教室」「介護予防栄養講習会」を実施するベガルタ仙台の地域貢献活動の1つです。

当社は、この協賛を通じて、地域における健康増進活動や社会貢献活動に取り組んでまいります。



今シーズンのトレーニング用
パンツに当社ロゴを掲出



こころもからだも元気 Project



©VEGALTA SENDAI